

広報渉外委員会 基本方針

テーマ「Lead to hope」

広報渉外委員会 委員長 木村 勇大
副委員長 宮田 潤
広報担当理事 水元 隆介

2020年新型コロナウイルスの影響により、我々の生活は自粛を余儀なくされ、JC運動も制限されました。そのため、JC運動や情報をより効果的・戦略的に広報発信することが必要だと考えます。また、渉外業務は他LOMとの対外的な窓口であり、諸大会、諸会議において、メンバーが持つ輝きを引き出す行動を委員会で従事することが、組織としての格上げとなり存在意義を高めると考えます。

まず広報として、今までの広報活動を分析し、受け手が求めている情報を探り、時代に即したSNSや動画配信等だけでなく、地域の多種多様な媒体を使い、価値ある情報として新しく効果的に伝える仕組みを模索し、我々の運動が地域の方々に共感をもたらし、厚木青年会議所が地域の希望となるような発信をしていきます。渉外では、渉外業務の重要性を委員会で認識し、メンバーを輝かす行動の中から自身を磨き、組織の資質向上に繋がります。そして、LOMの活動だけでは気づくことのできない学びや自己成長のチャンスに触れていただくために、出向に意欲のあるメンバーへの支援をし、活躍しているメンバーの取り組みを積極的にLOMメンバーに発信し、その経験をLOMの財産として積み上げていきます。

本年度広報渉外委員会では、会員一人ひとりの成長する機会を創ることと、厚木青年会議所の魅力を幅広く発信し、地域の希望となるようメンバーを導くために「Lead to hope」の志を持って運動を展開していきます。

〔事業計画〕

1. 京都会議への参加推進、設営
2. 4月例会の開催
3. ASPACへの参加、推進
4. 関東地区大会への参加、推進
5. 7月例会サマーコンファレンスの実施及び参加推進、設営
6. ブロック大会への参加推進、設営
7. 全国大会への参加推進、設営
8. 卒業アルバムの作成

9. SNSの発信
10. 出向への支援
11. ホームページの更新
12. 正会員、賛助会員の拡大
13. 各種大会、他会議体、他委員会事業への積極参加および協力